

■ニーズ調査項目案(前回調査との比較)【小学生用】

※小学生を対象とした国の「調査票のイメージ」はなし

国の「調査票のイメージ」			
大項目	問番号	調査項目	「難の見込み」
/			

H30柏市調査	
【調査対象】 こどもルームを利用している世帯 3地域から各2ルーム(合計6ルーム) 約600件	
問1	居住地区
問2	子どもの学年
問3	回答者の属性
問4	回答者の配偶者の有無
問5	子どもを見てもらえる親族・知人の有無
問6	子育てを主に行っている者
問7-1	放課後をどのように過ごさせたいか
問7-2	学年によって過ごさせたい場所を変えたい場合
問8	民間の学童で重視する点
問9	土・日・祝、長期休暇中の利用希望の有無
問10	小学校敷地外の利用希望の有無
問11	子どもルーム以外でお子さんが放課後過ごす場所として考えられる場所
問12	子育ての環境や支援に関する意見【自由記載】

R5柏市調査(案)【調査対象】
小学1年生～6年生のいる世帯 各学年200件 合計1,200件 【こどもの意見聴取】 小学4年生～6年生を対象に実施
<p>〈小学生の調査対象及び調査数の見直しについて(学童保育課)〉</p> <p>こどもルームだけではなく「放課後の居場所」に関するニーズを把握するため、調査対象をこどもルームを利用している世帯だけではなく、小学1年生～6年生のいる世帯とする。</p> <p>・現在こどもルームを利用していない世帯がどのように放課後を過ごしているか、あるいは、こどもルームの潜在的なニーズを把握すること等が可能となる。</p> <p>【設問例】</p> <p>例1:こどもルームを含め、どのような放課後の過ごし方をしているか伺うもの 例2:こどもルームを利用していない世帯へ利用していない理由を伺うもの (こどもルームの潜在的なニーズが把握できる選択肢を含める)</p> <p>〈こどもの意見聴取(こども政策課)〉</p> <p>こども基本法の施行により、こども施策を策定するに当たりこどもへの意見聴取が求められていることから、4年生～6年生(各学年200件×3学年=600件)を対象に、こどもへの意見聴取の設問を追加する。</p> <p>【設問例】</p> <p>例1:学校以外でどんな場所で遊びたい・過ごしたいか伺うもの 例2:学校以外でどんなこととして遊びたい・過ごしたいか伺うもの</p> <p>〈少子化対策に関する設問の追加について(こども政策課)〉</p> <p>少子化対策に関する現状を把握する観点から、理想の子どもの人数を育てる上での課題や必要な支援に関する設問を追加する。</p>

設問数

設問数 13

設問数 ●●